

塾生募集

オープンイノベーション ナノセルロース塾

第9期(2026年度)

ナノセルロース塾は、多彩な講師による講義と異分野とのネットワーク形成にて、新たな事業展開を支援しています。
第9期も平日開催を盛り込み、充実した内容で実施します。

期 間

2026年6月～2027年1月(全7回 土又は水・金曜日開講)

受講方法

会場 [京都大学宇治キャンパス
京都市産業技術研究所 (ほか)] 又は オンライン (Zoom)

*会場又はオンラインでの受講のいずれかを毎回選択できます。

定 員

100名 (先着申込順)

受講料

30,000円(税込・7回分一括) *申込受付後に振込先を連絡いたします。

ナノセルロースジャパン・一般会員は無料

*講義資料は専用サイトにて配信(冊子印刷は行いません。)

申込期間

2026年6月12日(金)まで

申込方法

下記URLにて必要事項を記載のうえ、お申し込みください。

申 込 先 : <https://form.run/@yzKT5TwcAz4Kiq82a1jK>



*各回、受講者を変更することは可能です。

*申込みに当たっては、2ページ目に記載している備考もご確認ください。

“ナノセルロース塾” 開講宣言

(2018年6月)

塾長 京都大学客員教授 渡邊 政嘉
副塾長 京都大学特定准教授 吉田 朋央
顧問 京都大学教授 矢野 浩之
(ナノセルロースジャパン技術・普及分科会長)

セルロースナノファイバー(CNF)に関わる研究開発活動は、国内外で盛んに進められています。激化する国際競争の中で我が国のCNF関連企業がフロントランナーとして主導的なポジションを獲得するためには、企業内部での自前開発だけに頼っているだけでは限界があり、戦略的に社内の強みを生かしながら、外部の資源を積極的に取り込む活動が必要不可欠となっています。

新たな市場を開拓するためには従来技術の延長線上の発想を超えて、異なる技術分野との融合によって生み出される新たな価値創造活動が原動力となります。

しかしながら、異なる技術や事業分野とのネットワーク形成は必ずしも簡単ではなく、困難を伴います。そこで新たにCNF関連企業がオープンイノベーション活動を円滑に進める場づくりとなる活動としてオープンイノベーション“ナノセルロース塾”を開講します。

具体的にはCNF以外の異分野技術に関する専門家を招聘し、異なる技術領域との融合や複合によりCNFの新たな活用に関するヒントを得るとともに、将来の共同研究開発等のシーズ開拓やマーケット開拓のヒントを得る場を設けます。

*“ナノセルロース塾”は、CNF技術に関心を持ち新たな用途開発や市場開拓を検討している技術者、研究者、技術営業担当者、マーケティングリサーチャー及びコンサルタントなどの方を対象とします。

講義内容

No	開講日 会場 (予定)	講師 (プロフィールは後述参照/敬称略) *1	テーマ
1	6月20日(土) 京都大学宇治キャンパス	渡邊 政嘉 (塾長) 京都大学客員教授 矢野 浩之 京都大学特任教授	オープンイノベーションの基礎/CNF入門
2	7月22日(水) 京都市産業技術研究所	山田 純市 経済産業省革新素材室長 河田 陽平 環境省資源循環制度推進室長	CNFに関する政策動向
3	9月19日(土) 京都大学宇治キャンパス	伊福 伸介 京都大学教授 桑島修一郎 (副塾長) 京都大学特定教授	オープンイノベーション実践/CNF材料の基礎
4	10月30日(金) *2 京都大学宇治キャンパス	田中 達也 同志社大学教授 野口 広貴 (地独) 京都市産業技術研究所	複合材料製造技術
5	11月20日(金) *3 王子HD・東京東雲	藤澤 秀次 東京大学准教授 佐野 博成 高分子学会フェロー	CNF材料のナノ構造解析
6	12月11日(金) 京都市産業技術研究所	松永 啓之 NEDO バイオ・材料部 鬼頭 雅征 トヨタ紡織株式会社	CNFとものづくり
7	1月16日(土) 京都大学宇治キャンパス	平野 貴章 富士市 CNF・産業戦略担当主幹 尾下 優子 東京大学未来ビジョン研究センター 特任講師	CNFの社会実装と経済効果

●開講時間 13:30~17:20 毎回、ネットワーキングと講義を開催します。

●毎回、会場(人数制限あり)又はオンラインでの受講を選択することができます。受講生の交代も可能です。

●17:20以降、会場にて交流会(実費負担:500円程度)を予定しております。(第5回は別途予定)

*1:講師は、人事異動等により急きょ変更することがございます。予めご了承ください。

*2:第4回は、ナノセルロース塾第1~8期受講者とのネットワークを広げるため、同窓会を同時開催します。

*3:第5回は、(株)王子ホールディングス・東雲研究所にて見学会を予定しております。(30名限定)

<備考>

●受講者の交流が促進できるよう、ネットワーキングにおいて、自社アピールなど実施していただきます。

●現地参加の場合、交通費、宿泊費、交流会費等は受講者にてご負担ください。

●オンライン配信にて参加いただく環境は、受講者側でご準備ください。また、インターネット回線の通信状況等により、良好に聴講できない可能性がございます。

●新型コロナウイルスの感染拡大など、やむを得ず内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。



渡邊 政嘉

京都大学特任教授・学外連携フェロー（一財 高度技術社会推進協会・常務理事）。経産省産総研室長、紙業服飾品課長、産業技術政策課長、NEDO 理事、中小企業庁経営支援部長、経産省東北経済産業局長、内閣審議官を歴任し、令和 4 年 7 月退官。研究所経営（オープンイノベーションノブ戦略）に関する研究、セルロースナノファイバーの産業利用に関する研究等、多数実施。紙業服飾品課長時代に世界に先駆け、ナノセルロース社会実装に向けたナノセルロースフォーラムの設立をリード。受賞歴：型技術協会創立 30 周年「功労者賞」、日本機械学会フェロー、同会創立 120 周年記念功労者表彰など。博士（工学）



矢野 浩之

京大生生存圏研究所特任教授。京都府立大学林学科助手、同講師、京都大学木質科学研究所助教授、生存圏研究所教授を経て 2024 年より現職。セルロースナノファイバー材料の開発によりセルロース学会林治助賞、日本木材学会賞を、パルプ直接混練法“京都プロセス”の開発により本田賞、TAPPI ナノテクノロジー部門賞、科学技術分野の文部科学大臣表彰をそれぞれ受賞。渡邊課長（当時）、磯貝教授と連携してナノセルロースフォーラムの設立、運営に貢献。ナノセルロースジャパン副会長。農学博士



山田 純市

経済産業省製造産業局素材産業課革新素材室長。2006 年 3 月 京都大学大学院農学研究科を卒業後、同年 4 月に経済産業省に入省。中小企業庁経営支援課や地域経済グループ地域企業高度化推進課にて地域産業の振興、経済産業政策局産業構造課にて日本の経済成長ビジョン等の検討、通商政策局アジア大洋州課や厚生労働省医政局医療国際展開推進室にて日本企業等の国際展開に従事。2019 年から 2024 年まで内閣官房国家安全保障局に出向し、経済安全保障政策の立ち上げや新たな国家安全保障戦略の策定等に従事。2024 年 7 月より現職に至る。



河田 陽平

2005 年北海道大学大学院修士卒、自動車関連下請け会社へ入社、その後自動車メーカーへ転職。2015 年自動車メーカーから環境省へ社会人経験者採用枠にて入省。2017 年 地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室、2019 年水・大気環境局自動車環境対策課、2020 年同課自動車環境戦略企画官、2024 年資源循環ビジネス推進室長、2025 年資源循環制度推進室長、現在に至る。



伊福 伸介

京大生生存圏研究所教授。2005 年京都大学農学研究科博士後期課程修了。2007 年 プリティッシュコロムビア大学 博士研究員、2008 年～2023 年 鳥取大学大学院工学研究科 講師、准教授、教授、2016 年～2023 年 マリンナノファイバー 代表取締役社長、2024 年より現職。主な受賞歴：科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞、セルロース学会奨励賞、繊維学会論文賞ならびに技術賞、新化学技術推進協会研究奨励賞ならびに GSC 賞ベンチャー企業賞など、博士（農学）



桑島 修一郎

京大生生存圏研究所特定教授、生存圏未来開拓研究センター長。島根大学総合理工学部特任教授。2000 年九州大学大学院理学研究科博士後期課程修了。京都大学大学院工学研究科科学技術振興助教、講師を経て、2009 年京都大学産官学連携センター准教授。2010 年より経済産業省産業技術環境局技術戦略政策官としてイノベーション政策に従事。2013 年から京都大学産官学連携本部特任教授として産官学連携支援を担当、2022 年 11 月より現職。研究・イノベーション学会理事。博士（理学）



田中 達也

1985 年同志社大学工学研究科機械工学専攻終了後、(株)神戸製鋼所 機械研究所に入社、高分子機械の研究開発を担当。2003 年機械カンパニー開発部プロジェクト Gr 長。その間、2002 年 3 月同志社大学にて博士（工学）の学位を修得。2006 年 3 月(株)神戸製鋼所を退職し、同年 4 月より同志社大学工学部エネルギー機械工学科教授、名称変更により理工学部機械理工学科教授（現在に至る）。2007 年より複合材料研究副センター長、2012 年より先端複合材料研究センター長。企業及び大学にて一貫して高分子材料の混練・成形技術の研究開発に従事。現在、新規混練技術を駆使して、NEDO 先導研究にてバイオマスプラスチックの高機能化の研究を推進している。



野口 広貴

京都市産業技術研究所 材料・素材技術グループ。2016年に熊本大学大学院自然科学研究科産業創造工学専攻（博士後期課程）を修了。熊本大学での博士研究員を経て、2019年4月より現職。環境省の「CNF活用製品の性能評価事業」や「脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」、環境再生保全機構の「環境研究総合推進費」など、CNF関連及びプラスチック資源循環に関する事業に参画し、CNF複合樹脂の社会実装に向けた実証・推進に従事。主な受賞歴に、九州分析化学ポスター賞（2012年）や The 12th International Saint-Petersburg Conference of Young Scientist における Best Poster Award（2016年）など



藤澤 秀次

東京大学大学院農学生命科学研究科准教授。平成26年3月東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻博士課程修了、博士（農学）学位取得。平成26年4月森林総合研究所学振特別研究員PD、平成27年4月同研究所研究員、平成30年2月東京大学特任助教、平成30年4月同大学助教、令和5年11月同大学准教授。主な受賞に、平成29年日本木材学会奨励賞、令和2年日本農学進歩賞、令和3年セルロース学会奨励賞、令和7年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞



佐野 博成

1960年代に三菱油化（現三菱ケミカル）に入社。ポリオレフィン、汎用エンブラ、ブレンド・アロイ、ファイバーとの複合材料などの材料開発・構造解析の研究に従事。例えば、T社と「TSOP」を開発、クラウンのバンパーに搭載、学会発表や論文でも注目を集めた。三菱ケミカルに席を置く一方で、京都大学の研究員として、セルロース複合材料の開発・構造解析、山形大学の客員教授として、成形加工と構造・物性研究の一助を担う。専門は、高分子材料の構造・物性研究。博士（工学）、高分子学会フェロー



松永 啓之

名古屋工業大学大学院修士課程修了（物質工学専攻）、1988年株式会社東芝へ入社。2020年よりNEDOへ入構して炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー関連技術開発事業の推進業務を担当。2023年10月より本事業のプロジェクトマネージャー、2023年度より先導研究プログラム事業や先導国際共同研究開発の推進業務も担当。夫婦そろって海釣りが趣味で、時間と仲間を見つけてはレンタルボートで東京湾を中心にジギングでの釣行を重ねています。



鬼頭 雅征

2000年アラコ（現トヨタ紡織）入社。車載向けマッサーシステム（世界初）、初代燃料電池車「MIRAI」のスタックマニフォールド樹脂化（世界初）など、数々の先進技術を開発、量産市販車に搭載してきた。2018年クラウンに初搭載された高耐衝撃プラスチック（PPとPA11のポリマーアロイ）ではゼロから素材開発を進め、2019年自動車技術会・技術開発賞、2020年高分子学会賞、令和5年度文部科学大臣表彰（科学技術分野）などを受賞。2023年3月より京都大学に駐在し、CNF（セルロースナノファイバー）強化樹脂の研究開発を推進。2025年5月NEDO先導研究プログラム・プロジェクトリーダーに就任。CNFの量産・市販車への早期実装を目指し、日々研鑽中。



平野 貴章

富士市役所産業交流部産業政策課 CNF・産業戦略担当主幹。2003年富士市役所に入庁。2016年経済産業省紙業服飾品課（素材産業課革新素材室）に出向し、NEDOプロジェクトやナノセルロースフォーラム（現：ナノセルロースジャパン）等を担当。2018年現所属に着任し、富士市における工業振興支援、新産業創出等に係る業務に従事。2024年NCJ事業化推進分科会副分科会長に就任し、地域コンソーシアムや公設試験研究機関の連携の機会として、地域分科会会議等を担当。



尾下 優子

東京大学未来ビジョン研究センター特任講師。2013年3月に九州大学大学院 経済学研究科 博士課程修了（博士（経済学））。神戸大学大学院海事科学研究科の助教、講師、東京大学未来ビジョン研究センターの特任研究員を歴任し、2021年より同センターの特任講師を務めている。専門は環境経済学、産業連関分析、産業エコロジー、ライフサイクルアセスメント、サーキュラーエコノミーなどである。環太平洋産業連関分析学会 2012年度学会賞 奨励賞、第15回日本LCA学会 学会賞 奨励賞（2024年）、第21回国際産業連関分析学会ワシリー・W・レオンチェフ記念賞（2013年）を受賞。

お問い合わせ先

ナノセルロースジャパン ナノセルロース塾担当
E-mail open-innovation@nanocellulosejapan.org

